

2019年度 全学公開FD報告会等一覧

主催	日時	場所	対象	テーマ	講師	概要(300時程度)	全学周知	事前申込	担当者	センターnews
理工学部	2019年5月15日(水) 14:45～15:30	瀬田学舎1号館619会議室	本学の専任教職員(特任を含む)・非常勤講師・高校教員・学生	龍谷IP「公募推薦入学者を対象とした入学前課題の実施」	渋谷 恒司 教授 樋口 三郎 准教授	2016年10月から開始された、龍谷IP「公募推薦入学者を対象とした入学前課題の実施」は、2019年3月で第1期が終了し、2019年4月より第2期が開始された。本取組は、理工学部と農学部の2学部によるものであり、両学部が連携し、これまで入学前課題を提供していなかった公募推薦入試の合格者のうち、一次手続きの完了者に対し、数学、物理、化学、および生物の問題を、eラーニングの形で提供するものである。2017年度は理工学部の入学生のみを対象としていたが、2018年度入学生からは農学部の入学生も対象として、提供する問題数も順次増やしている。本報告では、本取組の概要、および参加者と入学者数の関係等のデータ分析結果を説明する。	○	要	理工学部教務課 (内線:7274/担当者:佐々木)	1
理工学部	2019年6月5日(水) 14:30～15:30	瀬田学舎1号館619会議室	本学の専任教職員(特任を含む)・非常勤講師・高校教員・学生	龍谷IP「グローバル人材育成を目指すASEAN体感プログラム(ベトナムおよびシンガポールの大学・企業をめぐる理工系スタディツアー)」の事業実施報告	宮武 智弘 教授	理工学部ではこれまで、海外への学生派遣プログラムとして「RUBeC演習(大学院)」、「グローバル人材育成プログラム(学部3年)」を整備するとともに、海外大学との学生交換協定に基づく海外研究留学(大学院)を推進してきた。ここでは、2016年度より龍谷IP事業として展開している「ASEANグローバルプログラム(学部2年)」について報告する。本プログラムは理工学部学生がASEAN地域の大学、日系企業、現地企業を訪問し、外国の文化や、これらの地域と日本との多様な関わりを知るとともに、現地学生との共同PBL活動、在留日本人ビジネスパーソンの方との交流等を通じて、グローバルな視点を養いつつ、自らの学修意欲、基礎能力を高めることを目的としている。本報告では、2017年度より実施している学生派遣の様子を中心に述べる。	○	要	理工学部教務課 (内線:7274/担当者:佐々木)	2
経営学部	2019年6月12日(水) 16:30～17:30	深草学舎紫英館6階会議室	本学教職員	高ストレスをメンタル不調に導かないことは？ —教育活動の充実に向けて—	須賀 英道 教授	ストレス環境におけるコーピング手法としてウェルビーイング手法が最近着目されています。みなさまの日常生活の中で気軽に取り組める具体的な手法を紹介し、実践しながら身につけて頂きます。みなさんの対人関係の向上や生き甲斐のある人生への方向付けにもきっと気づきます。是非、ご参加ください。	○	不要	経営学部教務課 (内線:1342/担当者:谷)	5
農学部	2019年6月26日(水) 15:45～16:15	瀬田学舎9号館2階大会議室	本学教職員	農学部における進路実績報告	キャリアセンター 中谷 麻里	農学部では2018年度に完成年度を迎え、一期生の進路決定状況が確定した。このことについて、就職状況の結果分析や学科毎の進路業種の傾向などをキャリアセンターから報告いただく。また、現在行っている4年次生(二期生)の進路希望調査の結果についても学部内で共有する。一期生の総括を行うことで、二期生以降の就職支援の方策などを考える機会とする。	○	不要	農学部教務課 (内線:2006/担当者:田中)	7
文学部	2019年7月10日(水) 15:30～16:30	大宮学舎 西翼2階大会議室	本学教職員	単位僅少者の動向調査と支援方策の検討	玉木 興慈 教授 一部学科・専攻のFD委員	文学部では、過年度より単位僅少者への修学支援体制の整備に取り組んでいる。本報告会では、一部の学科・専攻からの単位僅少者指導の課題と報告、ならびに学修状況が改善した学生から実施した聞き取り調査の分析結果を発表する。このことを踏まえ、単位僅少者指導にかかる施策(面談方法・単位僅少者面談シート)の改善に繋がる契機としたい。	○	不要	文学部教務課 (内線:5010/担当者:龍)	6
実践真宗学研究科	2019年7月10日(水) 11:30～12:30	大宮学舎 西翼2階大会議室	本学教職員	仏教と医療・福祉の連携を求めて	実践真宗学研究科 中村 陽子 教授	団塊の世代が高齢期を迎え、これからの日本はさらに少産多死社会が予想される。住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最後まで続けるために、地域包括ケアシステムの構築が急がれている。そこで仏教がこれまで培ってきた、各地域独自の相互扶助の文化や看取りの文化が試される。仏教者が地域包括ケアシステムの一員として果たすべき役割を考える。	○	不要	文学部教務課 (内線:5010/担当者:森)	9
社会学研究科	2019年7月10日(水) 15:15～16:15	瀬田学舎6号館1階 プレゼンテーション室	本学教職員	コピー&ペースト発見支援ソフトの現状と課題	株式会社アंक 前田 清一氏(技術部長)	他人の論文を自分が書いたように偽装する研究不正(剽窃)は、インターネット環境のもとで増えていると言われています。いわゆる「コピペ」は、学生の講義レポートどころか、世界的に有名な学術論文誌でも起こっており、アカデミズムへの信頼を低下させる凶凶のひとつとなっています。本委員会では、研究倫理の向上を目的に、コピー&ペースト発見支援ソフトの定番ソフト「コピベルナー」を販売する(株)アंक技術部長の前田清一氏を招き、ソフト実力や機能について説明を聞きたいと考えています。	○	不要	社会学部教務課 (内線:7272/担当者:巻野)	10
農学部	2019年7月24日(水) 15:30～16:15	瀬田学舎9号館2階大会議室	本学教職員	農学部の入学前教育について	竹歳 一紀(農学部教務主任、食料農業システム学科教授) 山崎 正幸(農学部食品栄養学科主任、食品栄養学科 准教授)	農学部専願入試および附属校合格者に実施している入学準備サポートプログラムと龍谷IP事業として2017年度から実施している公募推薦合格者対象のR-studyの内容について、解説をおこない、農学部入学前教育のあり方を検討する。	○	不要	農学部教務課 (内線:2006/担当者:田中)	11

経営学部	2019年8月2日(金) 17:30~	深草学舎22号館B101教室	本学教職員	【1部】「マネジメント演習(基礎)」及び「マネジメント演習Ⅰ」の試行について 【2部】合同型演習における合同報告会Ⅰ	【1部】「マネジメント演習(基礎)」及び「マネジメント演習Ⅰ」の試行について、運営展開方法等を報告する。 【2部】経営学部 坂本雅則ゼミ、濱田崇嘉ゼミ(3年生)	○	不要	経営学部教務課 (内線:1342/担当者:谷)	12
障がい学生支援室	①2019年9月25日(水) 15:20~16:50 ②2019年10月30日(水) 15:00~16:30	①瀬田学舎6号館プレゼンテーション室 ②深草学舎22号館107教室	本学教職員	障がい学生支援に関する教職員向け研修会 聴覚障がいの理解と手話	社会福祉法人全国手話研修センター 常務理事 小出 新一 氏 日本手話研究所 手話総合資料室 高塚 稔 氏	○	不要	障がい学生支援室	13
経営学部	2019年10月16日(水) 16:45~	深草学舎和顔館4階	本学教職員	2019年度第4回経営学部FD報告会 ~2019年度プログラム科目実施報告会~	右記のとおり	○	不要	経営学部教務課 (内線:1342/担当者:谷)	16
農学部	2019年10月23日(水) 15:15~16:00(予定)	瀬田学舎9号館2階大会議室	本学教職員	農学部2019年度第2回FD報告会 農学部1期生の学修状況について	竹歳 一紀(農学部 教務主任/FD委員 長、食料農業システム学科教授)	○	不要	農学部教務課 (内線:2006/担当者:田中)	19
農学部 農学研究科	2019年11月6日(水) 15:15~16:15	瀬田学舎9号館2階大会議室	本学教職員	農学部2019年度第2回FD研修会/農学研究科第1回FD研修会 理工学部の30年、そして先端理工学部へ	松木平 淳太 理工学部長	○	不要	農学部教務課 (内線:2006/担当者:田中)	20
理工学研究科	2019年12月4日(水) 14:30~15:30	瀬田学舎1号館619会議室	本学教職員	メンタルヘルスケアについて	若井貴史(長岡病院 心理課 公認心理師 /臨床心理士)	○	不要	理工学部教務課 佐々木 理工学部・理工学研究科FD委員 糟野	23
政策学部	2019年12月11日(水) 16:45~18:15	深草学舎和顔館4階会議室3	本学教職員	政策実践・探究演習(海外)報告会	①政策学部 金 紅実 准教授、安 周永 准 教授、村田和代 教 授、石原凌河 准教授 ②政策学部「政策実践・探究演習(海外)」 受講学生	○	要(資料 準備のため)	政策学部教務課 (内線:2006/担当者:田中)	24

短期大学部	2019年12月11日(水) 16:30~17:30	深草学舎21号館3階 こども教育多目的室	本学教職員	「紙コップ」という素材を通した「主体的・対話的・深い学び」とは	羽溪 了 教授 短期大学部こども教育学科	こども教育学科では、定員を90名から135名に変更して以来、FD報告会において、学生人数、授業形態の異なる様々な授業担当者が、各自の授業をもとにした工夫や課題を話し合ってきた。今回は、保育内容「表現」の担当教員が、「紙コップ」という身近な素材を使った授業において、素材と出会い、見立て、想像・創造し、仲間に伝えるといった学生の「主体的・対話的・深い学び」のプロセスを、実際に教員自身も体験することを通して、「表現」における素材経験とその展開の面白さ、重要性を実感し、再度「学び」の意味について考える。	○	不要	短期大学部教務課 (内線:1361/担当者:杉山)	25
理工学部	2019年12月18日(水) 14:30~15:30	瀬田学舎1号館619会議室	本学教職員	教員活動自己点検 特定科目の成績分布データに基づく検証	辻上 哲也(理工学部 機械システム工学科 教授) 青井 芳史(理工学部 物質化学科 教授)	特定科目の教員活動自己点検および成績分布データに基づいて、科目難易度の適切性、成績評価基準の平準化、学生に明示した方法及び基準に則った厳格かつ適正な成績評価の確認および組織的な検証方法、教育活動の改善に対する教員活動自己点検の効果などについて、各学科において検討した結果を交えて報告する。また、物質化学科の教育向上改善検討委員会における試験答案や配付資料の相互チェック、物質化学科・物質化学専攻教育システム点検チェックシートを用いた組織的な教育システムの点検に関する取り組みについて紹介する。	○	不要	理工学部教務課 佐々木 理工学部・理工学研究科FD委員 糟野	26
経営学研究科	2019年12月21日(土) 14:30~16:30	深草学舎 紫英館東第2会議室	本学教職員	経営学研究科新カリキュラム(案)の概要について	経営学研究科教務主任 坂本 雅則	経営学研究科では、新カリキュラム実施委員会を立ち上げ、留学生の受入れ充実や、大学院における演習の在り方など、実施案の作成に向け、取り組んでいます。当日は、経営学研究科教務主任からの説明ののち、片岡 信之 本学名誉教授や、卒業した研究生による講評も予定しており、幅広いディスカッションを期待しております。ディスカッションの後は、懇親会も予定しておりますので、どうぞご参加ください。	○	不要	理工学部教務課 佐々木 理工学部・理工学研究科FD委員 糟野	28
政策学部 政策学研究科	2020年1月15日(水) 13:30~14:45	深草学舎和顔館4階会議室3	本学教職員	地域連携型教育(CBL)プログラムのモデル化および質保証の実質化 —現代のニーズに応える教育を目指して—	村田和代教授 井上芳恵准教授 大石尚子准教授	政策学部では開設以来多様な地域や企業と連携しながらアクティブラーニングを展開してきました。2017年度採択された本IPでは、大学の社会貢献、高大接続、生涯学習の場、広い意味でのキャリア教育といった社会からの多様な要請にも応えることができるアクティブラーニングモデルである「地域連携型教育=コミュ ニティベースドラーニング」(community based learning: CBL)プログラムの確立(体系化、サポート体制の構築)と実施に取り組んでいます。報告会では今年度の活動を報告します。	○	要(資料準備のため)	政策学部教務課 (内線:1372/担当者:兼金・神野)	30
法学部	2020年1月22日(水) 15:00~16:00	深草学舎紫英館5階会議室	本学教職員	『大学生基礎カレポートⅡ』の結果報告について	藤井 公雄 (株)ベネッセi-キャリア 教育事業本部 グループリーダー	法学部では1年生入学時の「大学生基礎カレポートⅠ」に加えて、2年生後期の時点で「大学生基礎カレポートⅡ」を実施している。このたびのFD報告会では「大学生基礎カレポートⅠおよびⅡ」の実施結果を踏まえて、学生自身がどのように成長し、変化したかについて、(株)ベネッセi-キャリア教育事業本部グループリーダーの藤井公雄氏から分析結果の報告をいただく。	○	要	法学部教務課 (内線:1372/担当者:河野)	32
経済学部 経済学研究科	2020年1月22日(水) 15:15~15:35	深草学舎紫英館2階大会議室	本学教職員	経済学部「早期卒業制度」を振り返って	清瀬 英之 准教授/ 経済学部教務主任 兵庫 一也 准教授/ 経済学研究科教務主任	経済学部では、2014年度以降の入学生を対象として、成績が特に優秀で、龍谷大学大学院経済学研究科に入学を希望する学生のために、3年間の卒業を認める「早期卒業制度」を設けています。今年度が本制度を開始して5年度目となることから、制度の概要、学部としての取り組み、実績、課題等についての振り返りを行います。	○	要	経済学部教務課 (内線:1334 /担当者:鈴木、安井)	31
理工学研究科	2020年1月22日(水) 14:30~15:30	瀬田学舎1号館619会議室	本学教職員	男女共同参画推進のために	中野 裕美 氏 (豊橋技術科学大学 副学長(男女共同参画担当)/元龍谷大学理工学部実験講師)	平成15年に「社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度とする目標」が設定されています。しかし、工学分野は最も遅れており、この目標値に全く届いていないのが現状です。なぜ男女共同参画を推進する必要があるのでしょうか?「男女共同参画によりイノベーションが起こり、組織が活性化される」からです。そのため、企業、大学、学会、自治体等でも、男女共同参画推進のための制度は充実してきましたが、風土や意識の低さ、アンコンシャスバイアス(無意識の偏見)が推進を遅らせています。今回、男女共同参画の現状、大学や企業等での最新の取り組み事例、キャリア形成に必要なことなど、データを示しながらご紹介いたします。	○	不要	理工学部教務課 佐々木 理工学部・理工学研究科FD委員 糟野	33

社会学部	2020年1月22日(水) 15:20~16:20	瀬田学舎6号館1階プレゼンテーション室	本学教職員	学生の主体性を促すCBL・PBL教育 ～政策学部の組織的な教育実践から学ぶ	村田 和代 氏 (本学政策学部 教授)	社会学部では「現場主義」を教育理念として重視し、4ヶ年を通じて、多様な実習プログラムを設置しています。しかしながら、実習科目全体の傾向として、受講者の減少が進んでおり、授業時間外も含めた実践学習への学生のモチベーションをいかに高めていくのかが、課題となっています。そこで、学部が一丸となってCBL・PBL教育に取り組んでこられた政策学部の実践に学びたいと考えています。	○	不要	社会学部教務課 (内線:7272/担当者:渡邊)	35
経営学部	2020年1月29日(水)	深草学舎和顔館202教室	本学教職員	2019年度第5回経営学部FD報告会 ～合同型演習における合同報告会Ⅱ～	経営学部 坂本雅則 ゼミ、濱田崇嘉ゼミ	社会人基礎力をゼミで養成することを目指した経営学部のゼミ改革(合同型演習)で義務づけられている「合同報告会Ⅱ」を実施する。坂本ゼミと濱田ゼミのゼミ生が下級生のチームワークに日常的にコーチングを行った結果から、どのようなことをつかんだのかを成果報告する。	○	不要	経営学部教務課 (内線:1342/担当者:谷)	34
短期大学部	2020年2月20日(木)	深草学舎和顔館B210教室	本学教職員	アクティブラーニングの実践	岩崎裕保氏 (開発教育協会監事、関西NGO協議会監事)	参加型のワーク/アクティビティについて、体験、レクチャー、ディスカッションを通して、授業におけるアクティブラーニングの効果的な実践方法について学ぶ機会とする。	○	不要	経営学部教務課 (内線:1342/担当者:谷)	37
文学部 文学研究科	2020年3月4日(水)	大宮学舎 西翼2階大会室議	本学教職員	基礎演習TA・ST制度の再点検 —実りある制度を構築するために—	出羽孝行 (文学部教授:文学研究科FD委員会委員長) 高田文英 (文学部准教授) 文学部各学科・専攻教員 (課題報告) TAおよびST学生 (事例報告)	文学部では基礎演習科目にTAを配置する制度を開始して以来、教務委員会をはじめとしてTAの有効な活用方策について検討する機会を設けてきたが、TAの供給源となる文学研究科と必ずしも十分な連携を行えてきたとはいえない。大学院生の減少やそれに伴うSTの導入、大学全体の賃金体系の見直しにより、ここ数年、TA制度を取り巻く環境も大きく変化してきている。特に文学研究科生の待遇の変更は、TA制度のもつ大学院生への教育的機能に変化をもたらすことが予想される。今回のFD報告会では、変化した環境に対応できるTA・ST制度を再検討することを開催目的とし、学部教育と大学院教育がより充実したものになるよう、学部・研究科構成員による活発な議論を期待したい。	○	不要	文学部教務課 (内線:5010/担当者:森)	38